

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年5月17日 (2018.5.17)

【公表番号】特表2017-511361(P2017-511361A)

【公表日】平成29年4月20日 (2017.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-016

【出願番号】特願2016-562778(P2016-562778)

【国際特許分類】

C 07 D 487/04 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 37/02 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 P 3/04 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 9/00 (2006.01)

A 61 K 31/4985 (2006.01)

【 F I 】

C 07 D 487/04 1 4 7

A 61 P 43/00 1 1 1

A 61 P 35/00

A 61 P 29/00

A 61 P 37/02

A 61 P 25/28

A 61 P 3/10

A 61 P 3/04

A 61 P 25/00

A 61 P 9/00

A 61 P 43/00

A 61 K 31/4985

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月30日 (2018.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

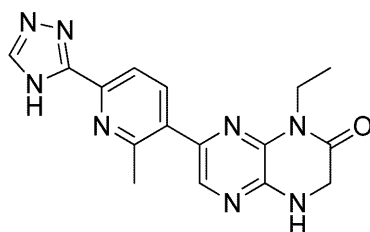
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

6.18±0.2°、21.74±0.2°、及び26.7±0.2°の2 にピークを含むX線粉末回折パターンを有する、式(1)の化合物又はその互変異性体の結晶形態：

【化 1】



(I)

。

【請求項 2】

$12.34 \pm 0.2^\circ$ 、 $22.5 \pm 0.2^\circ$ 、及び $23.42 \pm 0.2^\circ$ の2 にピークをさらに含むX線粉末回折パターンを有する、請求項1記載の結晶形態。

【請求項 3】

25 から300 に加熱したときに前記結晶形態の全質量のうちの15.5%の全質量損失を含む熱重量分析サーモグラムを有する、請求項1記載の結晶形態。

【請求項 4】

25 から300 に加熱したときに140 で最大値を有する90 ～185 での吸熱を含む単一示差熱分析サーモグラムを有する、請求項1記載の結晶形態。

【請求項 5】

前記単一示差熱分析サーモグラムが264 で最大値を有する240 ～285 の吸熱をさらに含む、請求項4記載の結晶形態。

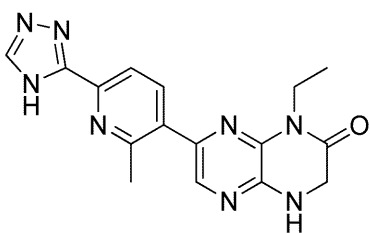
【請求項 6】

少なくとも90%純粋である、請求項1記載の結晶形態。

【請求項 7】

$3.5 \pm 0.2^\circ$ 、 $9.26 \pm 0.2^\circ$ 、及び $18.62 \pm 0.2^\circ$ の2 にピークを含むX線粉末回折パターンを有する、式(I)の化合物又はその互変異性体の結晶形態：

【化 2】



(I)

。

【請求項 8】

$7.06 \pm 0.2^\circ$ 、 $12.66 \pm 0.2^\circ$ 、及び $15.3 \pm 0.2^\circ$ の2 にピークをさらに含むX線粉末回折パターンを有する、請求項7記載の結晶形態。

【請求項 9】

25 から300 に加熱したときに前記結晶形態の全質量のうちの12.8%の全質量損失を含む熱重量分析サーモグラムを有する、請求項7記載の結晶形態。

【請求項 10】

25 から300 に加熱したときに160 で最大値を有する110 ～175 での吸熱を含む単一示差熱分析サーモグラムを有する、請求項7記載の結晶形態。

【請求項 11】

前記単一示差熱分析サーモグラムが254 で最大値を有する225 ～275 の吸熱をさら

に含む、請求項10記載の結晶形態。

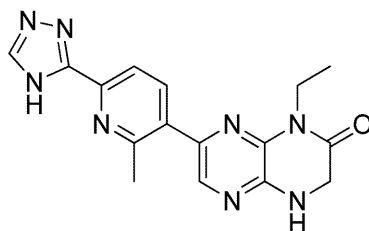
【請求項 1 2】

少なくとも90%純粋である、請求項7記載の結晶形態。

【請求項 1 3】

$10.66 \pm 0.2^\circ$ 、 $21.94 \pm 0.2^\circ$ 、及び $26.26 \pm 0.2^\circ$ の2 にピークを含むX線粉末回折パターンを有する、式(I)の化合物又はその互変異性体の結晶形態：

【化 3】



(I)

。

【請求項 1 4】

$10.14 \pm 0.2^\circ$ 、 $18.1 \pm 0.2^\circ$ 、及び $22.66 \pm 0.2^\circ$ の2 にピークをさらに含むX線粉末回折パターンを有する、請求項13記載の結晶形態。

【請求項 1 5】

25 から300 に加熱したときに前記結晶形態の全質量のうちの16.4%の全質量損失を含む熱重量分析サーモグラムを有する、請求項13記載の結晶形態。

【請求項 1 6】

25 から300 に加熱したときに140 で最大値を有する100 ～175 での吸熱を含む単一示差熱分析サーモグラムを有する、請求項13記載の結晶形態。

【請求項 1 7】

前記単一示差熱分析サーモグラムが258 で最大値を有する235 ～275 の吸熱をさらに含む、請求項16記載の結晶形態。

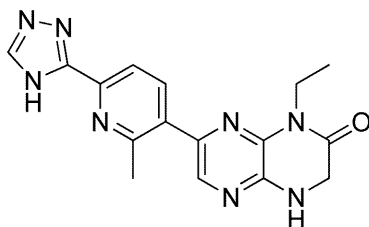
【請求項 1 8】

少なくとも90%純粋である、請求項13記載の結晶形態。

【請求項 1 9】

$9.26 \pm 0.2^\circ$ 、 $11.7 \pm 0.2^\circ$ 、及び $26.18 \pm 0.2^\circ$ の2 にピークを含むX線粉末回折パターンを有する、式(I)の化合物又はその互変異性体の結晶形態：

【化 4】



(I)

。

【請求項 2 0】

$7.46 \pm 0.2^\circ$ 、 $24.26 \pm 0.2^\circ$ 、及び $24.94 \pm 0.2^\circ$ の2 にピークをさらに含むX線粉末回折パターンを有する、請求項19記載の結晶形態。

【請求項 2 1】

25 から300 に加熱したときに前記結晶形態の全質量のうちの9.4%の全質量損失を含

む熱重量分析サーモグラムを有する、請求項19記載の結晶形態。

【請求項 2 2】

25 から300 に加熱したときに80 で最大値を有する50 ～140 での吸熱を含む単一示差熱分析サーモグラムを有する、請求項19記載の結晶形態。

【請求項 2 3】

前記単一示差熱分析サーモグラムが181 で最大値を有する160 ～200 の発熱をさらに含む、請求項22記載の結晶形態。

【請求項 2 4】

前記単一示差熱分析サーモグラムが251 で最大値を有する225 ～275 の吸熱をさらに含む、請求項23記載の結晶形態。

【請求項 2 5】

少なくとも90%純粋である、請求項19記載の結晶形態。